

授与機関名 順天堂大学

学位記番号 乙第 2522 号

Clinical features and predictors of outcome in patients with acute myocardial infarction complicated by out-of-hospital cardiac arrest

院外心停止を合併した急性心筋梗塞患者の臨床的特徴と予後予測因子

園田 健人（そのだ たけと）

博士（医学）

#### 論文審査結果の要旨

本論文は、院外心停止を合併した急性心筋梗塞患者の臨床的特徴および予後予測因子を明らかにした臨床的に意義ある論文である。院外心停止を合併した急性心筋梗塞患者の予後は不良とされるが、これについての検討、報告は特にアジアにおいて少ない。我々は 2004 年から 2017 年にかけて急性心筋梗塞のため順天堂大学医学部附属静岡病院に入院し、緊急で経皮的冠動脈インターベンションを施行された患者を対象に、後ろ向き観察研究を行った。対象患者 2,101 人のうち、院外心停止合併群は 95 人（4.7%）であった。若年、非糖尿病、非脂質異常症および責任病変が左主幹部もしくは左前下行枝であること、来院時の腎機能障害が院外心停止と関連していた。30 日死亡率については、院外心停止合併群が 32.6%と、非院外心停止合併群の 4.5%に対して約 6 倍高率であった。院外心停止合併群における 30 日死亡についてロジスティック回帰分析を行った結果、責任病変が左主幹部もしくは左前下行枝であること、来院時の腎機能障害、血糖値が独立した危険因子となった。本研究の結果は、院外心停止合併の急性心筋梗塞の病態およびリスク層別化の解明に寄与する重要な内容である。

よって、本論文は博士（医学）の学位を授与するに値するものと判定した。